

# エネルギーシフト

	助成先/企画名/活動内容	成果物	
2011年度	<p>助成先:グリーン・アクション</p> <p>(企画名) 「脱原発」ネットワーキング・プロジェクト</p> <p>(活動内容) 脱原発を実現するために経済学者、若年層、反原発・温暖化・消費者問題などに取り組むNGO、マスコミ・ライター・評論家、国会議員、アーティスト、そして海外の情報提供者といった人々の活動を繋げ、そのコーディネートに取り組む。また、再稼働、エネルギー転換など個々の問題にも取り組む。</p> <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■福島での放射線モニタリング支援</li> <li>■英文ブログFUKUSHIMA UPDATE配信。</li> <li>■文科省の学校20mSv基準問題などに対する取り組み</li> <li>■NY市国連前で脱原発アピール支援、再稼働問題全国討論会、エネルギーシフト院内学習会共催</li> <li>■経産省前「私たちの座り込み」連帯、報告書「放射能は女性にとってより有害である」など</li> <li>■国際キャンペーン団体Avaazによる署名12万人分代理提出、「脱原発を目指す女達の会」呼びかけ、国連人権高等弁務官事務所調査団派遣要請など</li> <li>■脱原発世界会議の海外コーディネート、大飯原発3・4号機問題で関西の啓蒙活動強化など</li> <li>■六ヶ所アクティブ試験と大飯原発再稼働に関する総理大臣への質問要望書提出、原子力発電所に対する欧州「ストレステスト」評価報告書翻訳・公開など</li> <li>■エネルギー転換に向けた議員セミナー開催、再稼働問題政府交渉</li> </ul>		
2	<p>助成先:国際環境 NGO FoE Japan</p> <p>(企画名) 子どもたちの被ばくの最小化に向けた「避難の権利」の確立</p> <p>(活動内容) 日本政府が定めた計画的避難区域の外に住んでいる人たちであっても、自らや子どもたちの被ばくリスクを知り、判断し、自主避難をすることができるように、自主避難のための補償やその他の行政サポートを受ける権利(=避難の権利)を確立する。このため、政府交渉や社会ムーブメントづくりを実施。</p> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■福島現地での集会や政府交渉を進め、「選択的避難区域」「サテライト疎開」を提唱、自主的避難者へのアンケート、避難の権利訴訟準備に向けて弁護士と協議など。</li> <li>■ブログ開設、内部被曝問題追求、福島市渡利地区線量調査・土壌汚染調査、渡利での連続勉強会など</li> <li>■子ども・妊婦の避難に予算措置を求める政府交渉、渡利地区の子どもを守る署名開始など</li> <li>■自主避難に正当な賠償を求める署名提出</li> </ul>	<p>「避難の権利」確立のために自主的避難の賠償問題と避難問題の最前線 ～福島市渡利地区の今～</p>	<p><a href="http://www.foejapan.org/climate/library/book_hinankenri201203.pdf.pdf">http://www.foejapan.org/climate/library/book_hinankenri201203.pdf.pdf</a></p>

<p><b>2012年度</b></p>	<p><b>助成先:グリーン・アクション</b></p> <p>(企画名) 「脱原発」ネットワーキング・プロジェクト Year2</p> <p>(活動内容)          ■美浜の会と連携し大飯原発敷地内の断層について再調査するよう活動。原子力安全・保安院が関電に調査指示を出すところまで持ち込む。          ■市民グループと共に原子力防災計画の問題に取り組む          ■国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)に働きかけ、国連人権理事会特別報告者の視察団が来日。日本政府の福島の子どもの人権に関する取り組みに対して厳しく批判する中間報告が出た。          ■IPPNW 主催の「福島の原発事故と人々の健康 ～教訓と課題」(8月27日)などの企画に係わり、IAEA など原発推進の機関や研究者の主張の反論が行われるよう、また海外の団体と国内の専門家による日本政府と福島県の低量線被曝に対する対策の検証・批評が進むよう協力した。          ■e-shift 中の市民グループと連携し、電力会社の電力不足と燃料費用コスト上昇キャンペーンに対する反論、運転再開はしなくていいという経済・政治・政策面での分析、利益相反問題も含め、原子力安全行政のあり方の批評を促し、マスコミなどに宣伝した。          ■脱原発世界会議2のセッション「We are the change 未来は一人ひとりから」をグリーン・アクションのスタッフとグリーン・アクションのユースで担当した。</p>	<p><b>最終報告書</b></p>	<p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2013/06/abt_2012report_networking.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2013/06/abt_2012report_networking.pdf</a></p>
<p><b>1</b></p>	<p><b>助成先:国際環境 NGO FoE Japan</b></p> <p>(企画名) 東京電力福島第一原発事故に伴う子どもたちの被ばく最小化および「避難の権利」を確立するための活動</p> <p>(活動内容) 子どもたちの被ばく低減のための避難・保養の促進、避難者が正当な賠償を取得し、避難先での生活再建を可能とさせるための政策構築、避難地域の安易な解除や住民の呼び戻しに警鐘を発するなどの活動を行った。</p> <p>■「福島ほかプロジェクト」の実施 福島の子どもたちを、土湯峠温泉など近隣の線量が低い地域で保養してもらうプロジェクトを実施。土湯・土湯峠温泉を中心にのべ 2,900 人を超える親子が参加した(2012年1月～2013年3月)。          ■原発事故子ども・被災者支援法の成立 与野党の国会議員に対するインプットを行い、SAFLAN、フクロウの会等と連携し、原発被害者救済のための立法措置などを求める署名運動を行った。また、チェルノブイリ法の立役者であるアレクサンドル・ヴェリキン氏を招聘し、チェルノブイリ法のポイントと課題につき、国会議員や市民の認識を深めた。 この結果、6月21日「正式名称:東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」(原発事故子ども・被災者支援法)が成立した。</p>	<p>1 1. A・ヴェリキン氏講演会「チェルノブイリ法への道のり～その成果と課題」開催報告(2012年5月)</p> <p>2 「医療費の減免措置の拡大を求める要請」(2012年5月)</p> <p>3 原発被災者のいのちと暮らしを守る法律の早期成立を求める署名(2012年6月)</p> <p>4 「原発事故子ども・被災者支援法市民会議」趣意書</p> <p>5 「ほかほかプロジェクト・サマーキャンプ in 南房総」報告書</p> <p>6 調査報告「高濃度汚染続く渡利・大波―避難と除染の政策見直しを」(2012年11月)</p> <p>7 「原発事故子ども・被災者支援法」基本方針に関する要望書(2012年11月)</p> <p>8 借上げ住宅制度打ち切り問題に関する要望書(2012年12月)</p> <p><b>最終報告書</b></p>	<p><a href="http://www.foejapan.org/energy/news/120523.html">http://www.foejapan.org/energy/news/120523.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/news/pdf/120527.pdf">http://www.foejapan.org/energy/news/pdf/120527.pdf</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/action/120406.html">http://www.foejapan.org/energy/action/120406.html</a></p> <p><a href="http://shiminkaigi.jimdo.com/%E5%B8%82%E6%B0%91%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E3%81%A8%E3%81%AF/#shu">http://shiminkaigi.jimdo.com/%E5%B8%82%E6%B0%91%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E3%81%A8%E3%81%AF/#shu</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/120903.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/120903.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/news/121118.html">http://www.foejapan.org/energy/news/121118.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/news/pdf/121128_2.pdf">http://www.foejapan.org/energy/news/pdf/121128_2.pdf</a></p> <p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2013/06/tenpu8_12121">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2013/06/tenpu8_12121</a></p> <p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2013/06/abt_2012report_hinan.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2013/06/abt_2012report_hinan.pdf</a></p>

2013  
年度

助成先: グリーン・アクション

(企画名)

「脱原発」ネットワーキング・プロジェクト Year 3

(活動内容)

全ての原発を停止状態のまま継続させること、特に最初の再稼働となる可能性が高かった大飯原発 3・4 号機の運転再開を阻止できるかどうか集中しました。また川内原発等運転再開が予想される各地の原発阻止運動にも努力しました。

■ 原発敷地内とその付近の活断層の存在、新規制基準による原発審査の技術的な問題点を指摘することにより原発再稼働を止める。

2012 年に原発敷地内での活断層の存在について指摘したのに続き、断層三連動を元に地震動の評価が行われるべきと主張することで、原子力規制委員会の適合審査の中で、大飯原発耐震工事が必要になりました。そのため、大飯原発の審査終了は 2014 年度終了まで延びることになり、大きな成果となりました。

■ 大飯原発防災計画の避難元と避難先になる自治体の防災計画策定状況を調査したことで、計画の未完成・不備が次々に明らかになり、国会でも取り上げられた。

■ 外国の専門家の講演会や勉強会の設定、Facebook や YouTube を活用した情報発信を開始しました。海外向けの活動を強化するための人材育成、運営ノウハウの蓄積を進め、原子力市民委員会、脱原発をめざす首長会議、e-shift など国内団体と海外の専門家などとの議論を深め、活動の輪を広げるための下地が出来た。

1

1	A call to action towards nuclear safety - everyone has a voice   Aileen Mioko Smith   TEDxKyoto	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=Fa1Os5o5xU4&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=Fa1Os5o5xU4&amp;feature=youtu.be</a>
2	Japanese citizens sue, saying "No!" to restart of nuclear power in	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=Fa1Os5o5xU4&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=Fa1Os5o5xU4&amp;feature=youtu.be</a>
3	Japanese citizens sue, saying "No!" to restart of nuclear power in	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=2IMPEID7i-U&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=2IMPEID7i-U&amp;feature=youtu.be</a>
4	原発の避難計画 知っていますか？	<a href="http://www.greenaction-japan.org/internal/140220_plan_refug_leaf.pdf">http://www.greenaction-japan.org/internal/140220_plan_refug_leaf.pdf</a>
5	「現在も続く福島第一原発の危機 The Ongoing Fukushima Daiichi Crisis: Ongoing Radioactive Discharges and Other Current Issues」(2014 年 9 月 24 日) 記者会見コーディネーター グレゴリー・ヤツコ(元米国合衆国原子力規制委員会 NRC 委員長)、トーガン・ジョンソン(住宅・都市計画建築家、サンディエゴフォーラム市民側代表)、筒井哲郎(原子力市民委員会)	
6	「プルトニウム分離のセキュリティと経済への影響 Security and Economic Implications of Plutonium Separation」(2014 年 5 月 23 日) 記者会見コーディネーター フランク・フォンヒッペル(プリンストン大学 教授)、マイケル・シュナイダー(マイケル・シュナイダー・コンサルティング)、田窪 雅文(ウェブサイト「核情報」主宰)	
7	「原子力防災計画」市民の活動	<a href="http://bousaieikaku.blogspot.jp/">http://bousaieikaku.blogspot.jp/</a>
8	日本の反原発市民運動が、原子力に止めを刺し国のエネルギー政策転換を実現させる可能性について—この課題を達成するために私たちが引き受けなければならないことは何か(要旨: 日本語)	<a href="http://www.greenaction-japan.org/internal/131208_Hosei Intl_Symposium-jp.pdf">http://www.greenaction-japan.org/internal/131208_Hosei Intl_Symposium-jp.pdf</a>

2013  
年度

		<p>Presentation given by Aileen Mioko Smith, Executive Director, Green Action (Japan), at the International Symposium: "Energy Policy Shift and the Creation of Public Spheres: Learning From Germany's Experience" (8 December 2013, Hosei University, Japan) (要旨と全文・英語)</p>	<p><a href="http://www.greenaction-japan.org/internal/131208_Hosei_Intl_Symposium-en.pdf">http://www.greenaction-japan.org/internal/131208_Hosei_Intl_Symposium-en.pdf</a></p>
		<p>9 震災学寄稿「水俣・スリーマイル・福島」</p>	<p><a href="http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/research/journal/shinsaigaku/03.html">http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/research/journal/shinsaigaku/03.html</a></p>
		<p>10 NIRS's Fukushima telebriefing March 6, 2014 featuring</p>	<p><a href="http://www.nirs.org/fukushima/fukushima-telebriefing3614.mp3">http://www.nirs.org/fukushima/fukushima-telebriefing3614.mp3</a></p>
		<p>11 京都の原発防災ってどうなってるの？</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=O0Hc8cW2nH4&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=O0Hc8cW2nH4&amp;feature=youtu.be</a></p>
		<p><b>最終報告書</b></p>	<p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_ga_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_ga_01.pdf</a></p>
<p>2</p>	<p>助成先: 国際環境 NGO FoE Japan</p> <p>(企画名) 東京電力福島第一原発事故による放射線被ばく低減施策の促進および健康管理体制への提言</p> <p>(活動内容) 原発事故被害者、とりわけ子どもたちの放射性被ばくの提言や健康管理体制の構築のために多くの活動を行った。</p> <p>■市民団体や地元の医師・ボランティアの協力のもと、猪苗代および南房総で、福島の子どもの自然体験型保養である「福島ぼかぼかプロジェクト」を継続的に実施。</p> <p>■子ども・被災者支援法が具体的に機能するよう、基本方針の策定時に東京・京都・新潟・福島で集会やワークショップを開催し、被災当事者の声を復興庁に伝えると共に、それを可視化し世論形成に努めた。</p> <p>■「放射線被ばくと住民の健康管理のあり方に関する市民・専門家委員会」を立ち上げ、環境省・復興庁との交渉、福島県健康管理課とのダイアログを行った。</p>	<p>1 福島ぼかぼかプロジェクト 2013年度報告書</p> <p>2 【共同声明】被災者の声なきままの基本方針案は手続き違反/既存施策の寄せ集めはもうたくさん</p> <p>3 【緊急署名】子ども・被災者支援法の基本方針案の見直しを！</p> <p>4 原発事故子ども・被災者支援法 9・8 東京集会</p> <p>5 原発事故子ども・被災者支援法 9・9 京都集会</p> <p>6 福島学習会 (9月10日)</p> <p>7 Q&amp;A 何が問題？ 子ども・被災者支援法の基本方針案</p> <p>8 報告 政府交渉: 「子ども・被災者支援法」を骨ぬきにしないで！復興庁基本方針案パブコメ対応、公聴会、支援対象地域、住宅支援と健康対応はどうなる？</p> <p>9 原発事故子ども・被災者支援法の基本方針案についての要請</p> <p>10 支援法基本方針 自治体意見書・決議などのまとめ</p>	<p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_foe_03.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_foe_03.pdf</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/news/130830_2.html">http://www.foejapan.org/energy/news/130830_2.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/action/130902.html">http://www.foejapan.org/energy/action/130902.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/130908.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/130908.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/130909.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/130909.html</a></p> <p><a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/130910.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/130910.html</a></p> <p><a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/09/post-ae5a.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/09/post-ae5a.html</a></p> <p><a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/10/post-2ed5.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/10/post-2ed5.html</a></p> <p><a href="https://dl.dropboxusercontent.com/u/23151586/130930_shienho_yousei.pdf">https://dl.dropboxusercontent.com/u/23151586/130930_shienho_yousei.pdf</a></p> <p><a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/10/post-cf24.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/10/post-cf24.html</a></p>

2013  
年度

11	プレスリリース「パブコメ無視の「(修正)基本方針」は遺憾～明日の閣議決定へ抗議！被災者の意見を反映した本質的修正を～」	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/131010.html">http://www.foejapan.org/energy/news/131010.html</a>
12	「放射線被ばくと健康に関する市民・専門家委員会」報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_foe_04.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_foe_04.pdf</a>
13	公開フォーラム「子どもたちの未来のために 健康被害の未然防止と支援法の早期実施を求め、1mSvを守ろう」(2013/5/5)	<a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/130505.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/130505.html</a>
14	ミニセミナー「被ばく安全神話を問う～科学の視点、市民の視点」(2013/5/26)	<a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/130526.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/130526.html</a>
15	「福島県県民健康管理調査」に関する市民ダイアログ会合(報告)(2013/7/27)	<a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/07/post-ae90.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/07/post-ae90.html</a>
16	「福島第一原発事故に起因する放射線被ばくと健康管理のあり方に関する省庁との会合一質問と回答」	<a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/06/post-79da.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2013/06/post-79da.html</a>
17	国連科学委員会報告書に、日本のNGOが「異議あり」(2013/10/25)	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/131025.html">http://www.foejapan.org/energy/news/131025.html</a>
18	国連科学委員会 (UNSCEAR) 福島レポートをどう読むか～IPPNWの共同代表・ティルマン・ラフ博士を迎えて	<a href="http://www.foejapan.org/energy/evt/131106.html">http://www.foejapan.org/energy/evt/131106.html</a>
19	【緊急声明】安全神話の押し付けに懸念:政府発表の「帰還に向けた放射線リスクコミュニケーション」と「放射線リスクに対する基礎的情報」に問題提起(2014/01/19)	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/140219.html">http://www.foejapan.org/energy/news/140219.html</a>
	<b>最終報告書</b>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_foe_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_foe_01.pdf</a>

3	助成先:放射能汚染地域のチョウにおける遺伝子損傷部位を特定するためのゲノム解読	
	(企画名) 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系大瀧研究室	
	(活動内容) ヤマトシジミという小型のチョウを用いて福島第一原子力発電所事故による放射能汚染地域にすむ生物に対する生物学的影響をゲノムレベルで調べることを目標とする。2013年度は、ゲノムの抽出に成功し、第一段階のドラフト配列が得られた。この成果は2014年度の研究に引き継がれ、更なるゲノム解析の後、最終的な研究論文という形で発表される。	
	1 ゲノム抽出用ヤマトシジミ採集(研究過程)	
	2 採卵・飼育後のゲノム DNA 抽出(研究過程)	
	3 ライブラリ作製とシーケンシング(研究過程)	
4 ゲノム出力データ解析(研究過程)		
5 解析レポート(研究途上)		
	<b>最終報告書</b>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_ryudai_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2014/06/abt_2013report_ryudai_01.pdf</a>



2014  
年度

1

助成先: 国際環境 NGO FoE Japan

(企画名)  
原発輸出に反対する国際キャンペーンの実施

(活動内容)  
原発輸出をめぐる 2015 年度の日本国内のもっとも大きな出来事は、①トルコ・UAE との原子力協定の国会承認、②CSC条約(原子力損害の補完的補償に関する条約)の国会承認であろう。いずれも、国会議員・一般市民・メディアに対して、集中的なキャンペーンを行い、原発輸出の問題を訴えた。

1	トルコ・シノップ原発建設計画と市民運動	
2	原発輸出～何が問題か？(ファクトシート)	
3	トルコの市民団体から国会議員に当てた手紙	<a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2014/04/post-3e84.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2014/04/post-3e84.html</a>
4	トルコ・UAE との原子力協定参議院審議。参考人質疑報告	<a href="http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2014/04/uae-c4a9.html">http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/2014/04/uae-c4a9.html</a>
5	【声明】トルコ・UAE との原子力協定の国会承認に抗議～原発に依存しない国際社会の実現への支援を	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/pdf/140418.pdf">http://www.foejapan.org/energy/news/pdf/140418.pdf</a>
6	【緊急署名】原発輸出を推進し、メーカーを免責する「原子力損害の補完的補償に関する条約(CSC)」に反対を	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/140924.html">http://www.foejapan.org/energy/news/140924.html</a>
7	【抗議声明】原発メーカーを免責し、原発輸出を促進する「原子力損害の補完的補償に関する条約(CSC)の	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/141113.html">http://www.foejapan.org/energy/news/141113.html</a>
8	CSC 条約に関する抗議声明(英文) Declaration to protest The Japanese Diet's over-hasty approval of the "Convention on Supplementary Compensation for Nuclear Damage" (CSC), which heavily protects	<a href="http://www.foejapan.org/en/energy/pdf/protest_CSC.pdf">http://www.foejapan.org/en/energy/pdf/protest_CSC.pdf</a>
9	脱原発でつながる日本と世界～福島原発事故 4 年目を迎えて～ 宣言文など	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/150310.html">http://www.foejapan.org/energy/news/150310.html</a>
	最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_foe_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_foe_01.pdf</a>

助成先:グリーン・アクション

(企画名)

「原発ゼロ」を本当に実現するためのキャンペーン

(活動内容)

今年の活動は、2013年9月15日時点で停止状態にある全ての原発をこのまま止めておくことが最優先課題だった。理由は再稼働のスタートとなる可能性が高い川内原発 1・2号機と高浜原発 3・4号機の運転再開を阻止できるかどうか、他の原発のメルクマールとなるため。これら2箇所の原発阻止に関わる各地の運動を相互に繋げることに努力した。

活動のポイントは以下の3点。

- ①原発敷地内とその付近の活断層の存在、火山問題の指摘、そして新規基準による原発審査の技術的な問題点を指摘する。
- ②防災計画不備の指摘。
- ③多くの外国のメディアと専門家に対し日本の状況を知らせ、海外の専門家などの意見を日本に伝えるというグリーン・アクションの強みを生かした活動。

1	関西電力を相手の大飯原発仮処分裁判判決後に抗議・報告会を開催 (5月9日)	
2	政府交渉(東京) [共催] 原子力防災、火山問題(川内原発)、汚染水問題、電力会社の運転再開審査について (5月20日)	
3	政府交渉 [共催] 「川内原発審査・重大事故対策について」 (7月28日)	
4	政府交渉 [共催] 「川内原発審査・火山審査について」 (7月29日)	
5	川内原発の再稼働を止めよう! 学習・交流会(大阪) [共催] (8月3日)	
6	関西広域連合へ原子力災害の広域避難等に関する質問・要望書提出 [共催] (8月5日)	
7	舞鶴市宛て原発事故時の避難計画に関する質問・要望書提出 (8月11日)	
8	政府交渉(参議院議員会館) 原発の避難問題について [共催] (8月21日)	
9	福井県知事宛: 原子力防災訓練・避難計画等に関する質問・要望書を提出 [共催] (8月29日)	
10	政府交渉 川内原発・避難計画/火山・地震審査に関して [共催] (10月24日)	
11	高浜原発審査及び川内原発火山審査について院内集会と規制庁と政府交渉(参議院議員会館) [共催] (1月13日)	
12	高浜原発汚染水問題などについて政府(規制庁)交渉(参議院議員会館) [共催] (3月12日)	
13	原発輸出問題に関する質問を政府に提出・回答を得る [共催] 同問題で記者会見 その後、日立本社の前で抗議行動 [FoE Japan など] (3月19日)	
14	原子力災害防災対策指針改定に関する政府宛質問書提出 [FoE Japan など] (3月27日)	

2014  
年度

15	ドイツ大使館クリスティーネ・ワシレフ 参事官講演会(ドイツの避難計画な ど)(4月23日)	
16	「原発ゼロ」で経済再生(金子勝)(8 月29日)	
17	KYOTO GRAPHIE「エネルギー:私 たちの環境と未来」(5月10日)	<a href="http://www.kyotographie.jp/2014/programs/513.htm">http://www.kyotographie.jp/2014/programs/513.htm</a>
18	Wuppertal Institute で講演会 「Phaseing Out Nuclear Power in Japan.」(10月13日)	
19	The Nuclear-Free Future Award (10月14日～)動画	<a href="http://www.nuclear-free-future.com/en/award-presentation/laureates/aileen-mioko-smith/">http://www.nuclear-free-future.com/en/award-presentation/laureates/aileen-mioko-smith/</a>
20	Nuclear accident evacuation planning in central Japan	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=oNYUjydGQIM&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=oNYUjydGQIM&amp;feature=youtu.be</a>
21	Will Japan's Nuclear Regulator Approve Plans to Restart Reactors Near Super Volcanoes?	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=L-KzJUbpq5E&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=L-KzJUbpq5E&amp;feature=youtu.be</a>
22	関西電力の電気料金値上げの申請 についてパート1	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=DfX7RsNAfNY&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=DfX7RsNAfNY&amp;feature=youtu.be</a>
23	外部勉強会(サロン)開催(京都大学 6月28日、8月19日)	
24	福井県原子力防災総合訓練・監視行 動報告	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_03.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_03.pdf</a>
25	「避難所が危険区域にあるか」のアン ケート回答集計	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_04.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_04.pdf</a>
26	共同で避難計画に関するリーフレット 発行	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_05.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_05.pdf</a>
27	活動の写真	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_06.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_06.pdf</a>
28	「脱原発 経済成長と両立可能」朝日 新聞(2014.5.11)	
29	「世界が『読みたい』判決文」朝日新 聞 2014.7.13	
30	「関電 2 原発『再稼働反対を』毎日 新聞(2014.8.12)	



2014  
年度

31	「原発事故避難計画 兵庫被ばく想定を」京都新聞(2014.8.18)			
32	「『再稼働反対を 県内外の市民団体知事に要望書提出』熊本日々新聞(2014.11.6)			
33	「Mihama test case for Japan's old reactors」Japan Times(2014.9.22)			
34	「安全確保が先決」京都新聞(2014.11.27)			
35	「県外避難所見直しを」朝日新聞福井版(2014.12.10)			
36	「再稼働反対で小浜市に要請」福井新聞(2014.12.10)			
37	「再稼働同意『必要』8割」京都新聞(2015.2.27)			
38	「避難計画問題点を整理」南日本新聞(2014.6.17)			
39	「被爆地の運動問われている」広島新聞(2015.3.28)			
	<b>最終報告書</b>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ga_01.pdf</a>		
3	<p><b>助成先:脱原発をめざす首長会議</b></p> <p>(企画名) モデル自治体形成と事務局機能の強化</p> <p>(活動内容) ◆避難計画問題 過酷事故が起きた際の住民の安全を確保する避難計画の立案と避難の責任は主に基礎自治体に委ねられている。基礎自治体の首長をメンバーとするネットワーク組織「脱原発をめざす首長会議」はこの問題を深刻にとらえ調査、申し入れ書提出、シンポジウムの開催を行った。</p> <p>◆脱原発社会を実現するための再エネ普及 脱原発社会を実現するためには、政府がベースロード電源と位置付けている原子力に代わるエネルギーが必要である。持続可能であり、環境負荷の少ない再生可能エネルギーを飛躍的に普及させる方針を掲げ、視察、シンポジウム・勉強会などを開催した。</p>	1	4月11日「原発再稼働問題に深く関わる避難計画についての記者会見」	<a href="http://mayors.npfree.jp/?cat=6&amp;pageid=3">http://mayors.npfree.jp/?cat=6&amp;pageid=3</a>
		2	「原子力災害時の避難計画・避難者受け入れ計画立案状況に関する調査結果」	<a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/04/20140411_report.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/04/20140411_report.pdf</a>
		3	4月22日「第39回国会エネルギー調査会(準備会)」への出席	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2550">http://mayors.npfree.jp/?p=2550</a>
		4	4月26-27日 年次総会及び勉強会、現地視察を小田原市で開催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2569">http://mayors.npfree.jp/?p=2569</a>
		5	決議 1~3	<a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/04/20140426_statement.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/04/20140426_statement.pdf</a>
		6	5月9日 原発問題に関する政府への申し入れ	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2652">http://mayors.npfree.jp/?p=2652</a>
		7	5月24日 避難計画に関する勉強会を京都市にて開催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2699">http://mayors.npfree.jp/?p=2699</a>
		8	6月1日 川内原発再稼働に関する緊急集會を水俣市にて開催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2744">http://mayors.npfree.jp/?p=2744</a>

2014 年度		9	7月12日 日独セミナー「原子力から再生可能エネルギーへのシフト」を開催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2919">http://mayors.npfree.jp/?p=2919</a>
		10	日独共同声明	<a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/07/20140712_joint_statement_jp.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/07/20140712_joint_statement_jp.pdf</a>
		11	「田中知・東大教授の原子力規制委員会委員への就任に抗議する緊急声明」	<a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/07/20140712_statement.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2014/07/20140712_statement.pdf</a>
		12	7月16日 川内原発再稼働問題に関する共同記者会見を共催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=2994">http://mayors.npfree.jp/?p=2994</a>
		13	脱原発のトルコの首長へ応援・連帯メッセージを送りました	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=3100">http://mayors.npfree.jp/?p=3100</a>
		14	12月13日 再生可能エネルギーに関する勉強会を開催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=3403">http://mayors.npfree.jp/?p=3403</a>
		15	2月3日 再稼働同意手続きに関する申し入れ書を政府へ提出	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=3551">http://mayors.npfree.jp/?p=3551</a>
		16	3月14日 原子力防災に関するパブリック・フォーラムを仙台にて開催	<a href="http://mayors.npfree.jp/?p=3603">http://mayors.npfree.jp/?p=3603</a>
			最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_kubi_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_kubi_01.pdf</a>
	4	<p>助成先: 低線量被曝の脅威制作委員会</p> <p>(企画名) 『低線量被曝の脅威』制作プロジェクト</p> <p>(活動内容) 助成年度内での映画完成はできなかった。取材中の報告などを共有した、常総生協、森の測定室、関東ネットの方達を中心とした交流により「低線量被ばく」の危険性を再確認でき、多少とも広報活動ができた。</p>		<p>最終報告書</p> <p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_hibaku_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_hibaku_01.pdf</a></p>

2014  
年度

5	<p>助成先: まつもと子ども留学基金</p> <p>(企画名) まつもと子ども留学 スタートアップ強化/こころのケアプログラム</p> <p>(活動内容) 東日本大震災で被災した、とりわけ福島で放射能の影響を受けやすい子ども達を福島から自然豊かな長野県松本市四賀地区で生活し、遊び、勉強する施設(子ども寮)を提供し、子ども達の現在と将来の健康と命を守り、健全な育ちを保障することがこの事業の目的である。</p> <p>子ども寮は、親御さんの負担をできる限り少なくするという見地で運営しているので、人件費や運営経費はNPOの会費と市民や団体の寄付でまかなわれている。わずか半年の準備で寮を開設した関係で、財源の心配は大きく、この1年スタートアップ強化として寄付の募集と広報活動、ボランティアなどの人的支援に力を入れてきた。その結果、多くの市民や団体の温かい支援のおかげで運営の土台作りはできてきている。</p>	1	リーフレット最新版(2種)	
	2	ニュースレター(1号~3号)	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_matsumoto_03.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_matsumoto_03.pdf</a>	
	3	「福島の子供『留学』支えよう」市民タイムス(2014.4.2)		
	4	「福島から四賀に 留学の子供にエール」市民タイムス(2014.4.3)		
	5	「『子ども留学』長野へ8人」朝日新聞福島版(2014.4.8)		
	6	「『四賀留学』広がれ支援の輪」市民タイムス(2014.5.13)		
	7	「米国人の善意 避難児童に」市民タイムス(2014.5.28)		
	8	「寮生活の小中学生を激励」飯館の子供 冬季キャンプ」市民タイムス(2014.12.16)		
	9	「福島の子にわが家提供」中日新聞夕刊(2015.2.15)		
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_matsumoto_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_matsumoto_01.pdf</a>	

2014  
年度

6	<p>助成先:琉球大学理学部海洋自然科学科生物系大瀧研究室</p> <p>(企画名) 放射能汚染地域のチョウにおけるゲノムレベルの遺伝子変異解析/チョウを用いた放射能汚染地域における外部被曝の影響の評価</p> <p>(活動内容) 第一のゲノムプロジェクトについては、高線量地域を含む広範囲の地域からのヤマトシジミの収集、RNA 精製、RNA からのライブラリーの作製、高速シーケンシングまでを行った。精製した RNA サンプルの品質は良好で、品質の高いライブラリーを作製することができ、シーケンス結果も良好であった。しかしながら、配列の生物学的な理解はまだできておらず、具体的な変異部位の特定には至っていない。</p> <p>第二の外部被曝プロジェクトについては、現地の汚染土壌を密閉状態で保持し、その上で沖縄のヤマトシジミを飼育した。その結果、外部被曝条件におけるヤマトシジミの死亡率、異常率、成長率等の評価を行うことができた。</p>	1	ゲノム DNA 解析結果<1>【研究途上のため未公開】	
	2	2. ゲノム DNA 解析結果<2>【研究途上のため未公開】		
	3	採取土壌線量および死亡率・異常率に関する報告書【研究途上のため未公開】		
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ryukyu_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_ryukyu_01.pdf</a>	
7	<p>助成先:NPO法人 いわき放射能市民測定室たらちね</p> <p>(企画名) たらちねβ 線核種測定ラボ開設プロジェクト</p> <p>(活動内容) β 線の測定という難しい事業が本格的に動き出したのは 2014年6月からである。測定法もいくつかの選択肢があり、市民測定室で行うにはどの方法が妥当であり、私たちの暮らしに役立つかなど検討すべきことは多々あった。 寄付集めだけでなく、ラボのデザイン設計、機材の選定、役所への許可申請、近隣関係者への理解と協力依頼など多くのハードルを越えながらラボの開設にこぎつけた。</p>	1	BS 朝日放送(2014.8.30)	
	2	日々の新聞 掲載 2 回	<a href="http://www.hibinoshinbun.com/index.html">http://www.hibinoshinbun.com/index.html</a>	
	3	「市民測定室だより」第 293 号	<a href="http://www.hibinoshinbun.com/files/293/293_toku2.html">http://www.hibinoshinbun.com/files/293/293_toku2.html</a>	
	4	藤原新也「原発問題一億総健忘症の中で。」Toriino Vol.33(2014.12.20)		
	5	福島中央テレビ 震災関連番組の中でたらちねベータラボについて放映(2015.3.8)		
	6	韓国 SBS テレビでベータラボについて放映(2015.3)		
	7	「市民測定所初のβ線ラボ『たらちね』を見学しました」べぐれでねが(2015.4.25)	<a href="http://bequredenega.com/archives/4145">http://bequredenega.com/archives/4145</a>	
	8	NPO 法人 いわき放射能市民測定室たらちねサイト	<a href="http://www.iwakisokuteishitu.com/">http://www.iwakisokuteishitu.com/</a>	
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_tarachine_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_tarachine_01.pdf</a>	

2014  
年度

8	<p>助成先:NPO法人 沖縄・球美の里</p> <p>(企画名) 福島の子どもの保養施設における医療充実化プロジェクト</p> <p>(活動内容) 福島の子どもたちが健康に安全に過ごせる保養施設として、現在2か月に3回約10日間の保養を自然豊かな沖縄県久米島にて実施している。 今年度からは医師を招き甲状腺検診および健康相談ができるよう、医療面での充実に取り組んできた。11月から医師を招き、甲状腺検診および健康相談会を実施。現在までに甲状腺検診・及び健康診断を受けた保養者人数は150人、うち子どもの数は計91人となっている。</p>	1	35 次保養(42 名に対し甲状腺エコー検診を実施)	
	2	36 次保養(参加者:子ども 53 名)		
	3	37 次保養(参加者:子ども 54 名)		
	4	38 次保養(33 名に対し甲状腺エコー検診を実施)		
	5	39 次保養(29 名に対し甲状腺エコー検診を実施)		
	6	40 次保養(44 名に対し甲状腺エコー検診を実施)		
	7	「沖縄・球美の里における医療充実化プロジェクトについて」	<a href="http://kuminosato.net/archives/2848/">http://kuminosato.net/archives/2848/</a>	
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_kumi_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_kumi_01.pdf</a>	
9	<p>助成先:みんなのデータサイト運営委員会</p> <p>(企画名) 知ろう!測ろう!つながろう! 市民による東日本土壌ベクレル測定プロジェクト</p> <p>(活動内容) このプロジェクトは、各地の市民グループと複数の市民測定所が協力し、東日本の広範囲にわたる土壌を採取し、放射能を測定することにより、福島第一原発事故による広域の放射能汚染の広がりを明らかにすることを目指している。今期(2015年3月までのフェーズ1)は、パイロット的に、体制の整った地域からプロジェクトをスタートさせた。結果として、2015年3月までに、土壌測定プロジェクトの目的や実施方法、参加・協力の呼びかけなどを含めたウェブサイト <a href="http://www.minnanods.net/soil/">http://www.minnanods.net/soil/</a> のシステムとデザインを完成させ、宮城、岩手を中心に、470 件以上の土壌測定結果のデータを登録し、一般に公開した。</p>	1	本件プロジェクトのデータベースシステムを構築し、プロジェクト情報を整理して各種ページを作成し、ウェブサイトとして公開した。	<a href="http://www.minnanods.net/soil/">http://www.minnanods.net/soil/</a>
	2	本件プロジェクトによる新規の土壌サンプル採取(約160カ所)を実施し、本件プロジェクトのウェブサイトには、先行して採取していた土壌サンプルをあわせて約470件のデータを登録し、公開した。	<a href="http://www.minnanods.net/mrdatasoilsearch?rows=100&amp;year_s=&amp;month_s=&amp;year_e=&amp;month_e=&amp;food=&amp;order_by=mrdate&amp;order_desc=1&amp;mrdate=1&amp;clubid=mds2">http://www.minnanods.net/mrdatasoilsearch?rows=100&amp;year_s=&amp;month_s=&amp;year_e=&amp;month_e=&amp;food=&amp;order_by=mrdate&amp;order_desc=1&amp;mrdate=1&amp;clubid=mds2</a>	
	3	2015/3/29「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト第一回測定室&市民交流会」を実施した。	<a href="http://minnanodasite.blogspot.jp/2015/04/3291.html">http://minnanodasite.blogspot.jp/2015/04/3291.html</a>	
	4	本件プロジェクトに関するクラウドファンディングのサイトを作成、公開し、資金調達に努めている(6月21日に目標額達成)。	<a href="https://moon-shot.org/projects/68">https://moon-shot.org/projects/68</a>	
	5	土壌マップシステムを準備し、3月29日に先行公開した。	<a href="http://www.minnanods.net/soil/pref17/map17.html">http://www.minnanods.net/soil/pref17/map17.html</a>	
	6	3月13日に『週刊金曜日』にて事務局長石丸のインタビュー「市民放射能測定所が見た“汚染”のいま」が掲載され、土壌プロジェクトについても告知された。		
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_minna_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2015/07/abt_2014report_minna_01.pdf</a>	



2015 年度	1	<p>助成先:FOEJapan</p> <p>(企画名)原発輸出に反対する国際キャンペーンの実施</p> <p>(活動内容) 日本が原子力協定の締結を加速させているインドに焦点を当て、原発輸出に反対する国内及びに国際世論を高めていく事を目的として活動。主には①日印原子力協定に関連した調査、問題提起、②反対運動のネットワーク強化、国際連携、③原発輸出の安全確認のあり方に関する政策提言を行う。</p>	<p>1 【声明】経団連の“日インド原子力協定推進”に抗議～一部の企業の利益追求のために、核拡散リスクを無視し、日本の信用を損ねていいのか～(2015.11.19)</p>	<a href="http://www.foejapan.org/energy/export/doc_151119.html">http://www.foejapan.org/energy/export/doc_151119.html</a>
		<p>2 【書簡】～原子力ではなく、再生可能エネルギーへの協力を。核無き世界の達成を～(2015.11.26)</p>	<a href="http://www.foejapan.org/energy/export/doc_151126.html">http://www.foejapan.org/energy/export/doc_151126.html</a>	
		<p>3 【声明】日印原子力協定「大筋合意」(覚書 MoU 締結)報道を受けて～世界の核不拡散体制をゆるがし、福島原発事故の痛みを忘れた無責任な原子力協力は許されない～(2015.12.12)</p>	<a href="http://www.foejapan.org/energy/export/151212.html">http://www.foejapan.org/energy/export/151212.html</a>	
		<p>4 【提言書】JBIC/NEXIによる原発指針に関する NGO 提言書(2016.1.28)</p>	<a href="http://www.foejapan.org/energy/news/160128.html">http://www.foejapan.org/energy/news/160128.html</a>	
		<p>5 「日印原子力協定に反対」東京新聞(2015.12.13)</p>		
		<p>6 「インドへの原発輸出は核廃絶の努力に悪影響」社会新報(2016.12.23)</p>		
		<p>7 「インドで「アベさん、帰れ！」毎日新聞(2016.1.28)</p>		
		<p>8 【資料】日インド原子力協定に関するファクトシート</p>	<a href="http://www.foejapan.org/energy/export/india.html">http://www.foejapan.org/energy/export/india.html</a>	
		<p>最終報告書</p>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_foe_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_foe_01.pdf</a>	
2	<p>助成先:グリーン・アクション</p> <p>(企画名) 脱原発活動における情報発信機能の強化</p> <p>(活動内容) グリーン・アクション(GA)は原発ゼロ社会実現を目指して原発現地や関西、東京 35 の団体と共同で活動を続けています。昨年秋に GA 代表はドイツの団体から表彰されましたが、海外が日本からの情報発信に期待していることの現れだと受け止め活動のテーマを「情報発信機能の強化」といたしました。能動的に情報を発信し、フィードバックする仕組みを構築することを計画しました。少しずつですが、能動的な情報発信を組織的に運営する仕組みができてきています。</p>	<p>1 福島事故後に取られた日本とドイツの相反するエネルギー政策がいかにして日本に敗北を、ドイツに勝利をもたらしたか(翻訳)</p>	<a href="http://greenaction-japan.org/internal/150630_Lovins.pdf">http://greenaction-japan.org/internal/150630_Lovins.pdf</a>	
		<p>2 Experiences and Lessons on Energy Security and Nuclear Power-The Case of Japan</p>	<a href="http://greenaction-japan.org/internal/150605_Kuala_Lumpur.pdf">http://greenaction-japan.org/internal/150605_Kuala_Lumpur.pdf</a>	
		<p>3 MOX 燃料利用計画に NO！核廃棄物処分場に NO！（翻訳）</p>	<a href="http://greenaction-japan.org/internal/160228_Sunday_Kvoto_Olson.pdf">http://greenaction-japan.org/internal/160228_Sunday_Kvoto_Olson.pdf</a>	
		<p>4 大津地方裁判所高浜 3・4 号仮処分決定文の紹介</p>	<a href="http://greenaction-japan.org/internal/160322_svokai.pdf">http://greenaction-japan.org/internal/160322_svokai.pdf</a>	
		<p>5 626(金)18:00～19:30【平成 27 年度地域共生推進機構 連続講座】「震災と文学」水俣の経験から福島を考える</p>	<a href="http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/info/top/oc2015sp-02.html">http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/info/top/oc2015sp-02.html</a>	
		<p>6 MOX(プルサーマル)燃料使用の危険性</p>	<a href="http://greenaction-japan.org/internal/150719-21_mox-safety-talk-ip.pdf">http://greenaction-japan.org/internal/150719-21_mox-safety-talk-ip.pdf</a>	
		<p>7 高浜再稼働「高島で住民説明会を」反原発団体 市に国への要望書」中日新聞(2015.4.6)</p>		
		<p>8 「原発規制基準独自審査を 市民団体、関西広域連合に要望」神戸新聞(2015.5.12)</p>	<a href="http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201505/0008017109.shtml">http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201505/0008017109.shtml</a>	

2015  
年度

9	「プルサーマル『リスク高める』米物理学者 中止を要求 伊方再稼働問題 松山で講演」愛媛新聞(2015.7.20)	
10	「『MOX 燃料 高リスク』米科学者 高浜原発再稼働に懸念」京都新聞	
11	「MOX 燃料危険性 米の科学者が訴え 高浜町役場を訪問」福井新聞(2015.7.22)	
12	「MOX 燃料『危険増す』高浜で米科学者」毎日新聞(2015.7.22)	
13	「『後悔のない判決を』玄海原発訴訟 アイリーンさん訴え」朝日新聞佐賀版(2015.9.12)	
14	「元 NRC 委員長 原発事故で警鐘 『対策 住民の安全考慮せず』朝日新聞(2015.10.1)	
15	「町長、『地元』拡大に反対 傍聴の府民から批判の声」京都新聞(2015.12.4)	<a href="http://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/20151203000">http://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/20151203000</a>
16	「ヨウ素剤配布『具体策なし』府内 7 市町 保管は 1 カ所」京都新聞(2015.12.12)	
17	「計画は『非現実的』京などの団体 訴え 東京で集会」京都新聞(2016.1.22)	
18	「弱者避難の過酷さ語る 上京 福島事故で講演会」京都新聞(2016.1.25)	
19	「Takahama reactor restart benefits some unsettles many」The Japan Times(2016.1.30)	<a href="http://www.japantimes.co.jp/news/2016/01/29/national/third-reactor-restart-spurs-fears-over-shaky-kansai-evacuation-plans/">http://www.japantimes.co.jp/news/2016/01/29/national/third-reactor-restart-spurs-fears-over-shaky-kansai-evacuation-plans/</a>
20	「もっと慎重に作業を 高浜原発トラブル 広がる不安」朝日新聞	
21	「被ばくの危険性訴え 自らも被害者 オルソンさん講演」毎日新聞京都版(2016.2.29)	<a href="http://mainichi.jp/articles/20160229/dl/k26/040/304000c">http://mainichi.jp/articles/20160229/dl/k26/040/304000c</a>
22	「高浜原発緊急停止 府が関電に抗議 市民団体も文書送付」毎日新聞(2016.3.2)	<a href="http://mainichi.jp/articles/20160302/dl/k26/040/537000c">http://mainichi.jp/articles/20160302/dl/k26/040/537000c</a>
23	聞いてガッテン！「原子力発電と電気料金」大島堅一(立命館大学国際関係学部教授) 共催:グリーン・アクション/コンシューマーズ京都(2015.5.26)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=O A2GeBY8Oes">https://www.youtube.com/watch?v=O A2GeBY8Oes</a>
24	電気料金の値上げって？(議論と選択)(2015.8.10)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=uyiTYwFZX-Y">https://www.youtube.com/watch?v=uyiTYwFZX-Y</a>
25	大飯・高浜原発運転差止仮処分審尋・異議審(2015.11.25)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=QkNvtvzBucc">https://www.youtube.com/watch?v=QkNvtvzBucc</a>
26	気候をまもる、パリへの行進 アースパレード 2015 京都市内パレード(2015.12.4)	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=MTGCoGp1B3Y">https://www.youtube.com/watch?v=MTGCoGp1B3Y</a>

2015  
年度

	<p>27 大飯原発仮処分・高浜原発保全異議決定 12月24日(2015.12.30)</p> <p>28 .1・24講演会:逃げ遅れる人々～南相馬市での過酷な避難と現状～(2016.3.07)</p> <p>29 Japanese Citizens Celebrate Victory -- Shut Down Nuclear Power Plants (2016.3.15)</p> <p>30 パイパイ原発 3.12 きょうとデモ(スライドショー)(2016.3.15)</p> <p>31 神戸大学名誉教授・石橋克彦氏、元GE 原発技術者・佐藤暁氏 外国特派員協会記者会見(2015.4.27)</p> <p>最終報告書</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=Gi1ehRv2Q0">https://www.youtube.com/watch?v=Gi1ehRv2Q0</a></p> <p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=6V7KZqWuUO8&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=6V7KZqWuUO8&amp;feature=youtu.be</a></p> <p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=jaOKus8mZLE">https://www.youtube.com/watch?v=jaOKus8mZLE</a></p> <p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=PltvCFvwE0">https://www.youtube.com/watch?v=PltvCFvwE0</a></p> <p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=4RH3fVIU5_M&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?v=4RH3fVIU5_M&amp;feature=youtu.be</a></p> <p><a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_ga_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_ga_01.pdf</a></p>
<p>3</p> <p>助成先:脱原発をめざす首長会議</p> <p>(企画名) 脱原発社会実現のための発信と連携強化</p> <p>(活動内容) 5月に宝塚市で、7月に東京で、10月に南相馬市でそれぞれエネルギー問題や被災地の復興に関する勉強会を開催した。とりわけ10月の南相馬市での視察・勉強会後の記者会見では、伊方原発再稼働に反対する声明「四国電力伊方原発3号機再稼働についての申し入れ」を公表し、朝日新聞、毎日新聞といった全国紙や福島民報などの地方紙、ブロック紙で取り上げられた。安易な再稼働は許されないという、被災地からのメッセージは、より重く響いたであろう。2015年度の企画テーマである「脱原発社会実現のための発信と連携強化」が実現した好例であった。</p>	<p>1 宝塚市にて再生可能エネルギーの視察、勉強会及び総会を開催(2015.5.10)</p> <p>2 「2030年の電源構成で原発比率を「20～22%程度」にすることに強く反対する緊急決議」(2016.5.10)</p> <p>3 東京にて勉強会「省エネ住宅によるまちづくり」を開催(2015.7.11)</p> <p>4 「原子力災害対策指針(改定)に対する緊急アピール」(2015.7.11)</p> <p>5 「九州電力川内原発1号機の再稼働への抗議声明」(2015.8.11)</p> <p>6 「伊方原発3号機再稼働反対 高知県下首長の積極的表明を求めます」(2015.9.6)</p> <p>7 南相馬市にて再生可能エネルギー施設の視察を開催。「四国電力伊方原発3号機再稼働についての申し入れ」を公表(2015.10.18)</p> <p>8 「四国電力伊方原発3号機再稼働についての申し入れ」(2015.10.18)</p> <p>9 「高浜原発3・4号機再稼働に関し、被害地元である関西の住民と環境を守るための要請」を京都府と滋賀県知事へ提出(2015.12.9)</p> <p>10 「会員の脱原発に向けたメッセージ」をホームページへ掲載</p> <p>11 「脱原発・首長会議:原発20～22%の政府案反対」毎日新聞(2015.5.10)</p> <p>12 「原発比率20～22%に反対 自治体首長らが緊急決議」共同通信</p>	<p><a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/05/20150510_statement.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/05/20150510_statement.pdf</a></p> <p><a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/07/20150711_appeal.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/07/20150711_appeal.pdf</a></p> <p><a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/08/20150811_statement.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/08/20150811_statement.pdf</a></p> <p><a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/09/20150905_request_member.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/09/20150905_request_member.pdf</a></p> <p><a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/10/20151018_Request.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/10/20151018_Request.pdf</a></p> <p><a href="http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/12/20151209_request.pdf">http://mayors.npfree.jp/wp-content/uploads/2015/12/20151209_request.pdf</a></p> <p><a href="http://mayors.npfree.jp/?cat=25">http://mayors.npfree.jp/?cat=25</a></p>

2015  
年度

13	『脱原発をめざす首長会議』宝塚で総会」神戸新聞(2015.5.10)	
14	「原発比率20～22%に反対 自治体首長らが緊急決議」神戸新聞(2015.5.10)	
15	「脱原発をめざす首長会議」MBS(2015.5.10)	
16	『原発2割に反対』脱原発首長会議が決議」朝日新聞(2015.5.10)	
17	IWJによる勉強会と総会の映像前編(2015.5.10)	<a href="http://www.ustream.tv/recorded/62106060">http://www.ustream.tv/recorded/62106060</a>
18	IWJによる総会の映像後編(2015.5.10)	<a href="http://www.ustream.tv/recorded/62115971">http://www.ustream.tv/recorded/62115971</a>
19	「原発30キロ圏外自治体も支援を 脱原発をめざす首長会議」共同通信	
20	「30キロ圏外支援を 規制庁に意見書 京丹後市など」共同通信(2015.7.11)	
21	『反省なく容認できぬ』脱原発首長会議」中日新聞(2015.8.11)	
22	「川内原発再稼働に『容認できない』と抗議声明」日刊スポーツ(2015.8.11)	
23	「鹿児島・川内原発:1号機再稼働 御前崎市長、理解示す 10キロ圏首長、浜岡には慎重姿勢 / 静岡」毎日新聞(2015.8.12)	
24	「川内原発再稼働 県内からも反発の声」中日新聞(2015.8.12)	
25	「川内原発再稼働『福島事故の反省ない』と石岡市長ら」常陽新聞(2015.8.12)	
26	「伊方原発再稼働に反対表明」NHK(2015.9.5)	
27	「伊方再稼働に高知県首長は反対表明を 元首長らが要請文」高知新聞(2015.9.5)	
28	「愛媛・伊方原発:3号機」首長は再稼働反対を」高知で経験者らアピール / 高知」毎日新聞(2015.9.6)	
29	「伊方再稼働反対、表明を 高知の首長経験者アピール」共同通信(2015.9.6)	
30	「伊方再稼働反対アピール文 脱原発首長会議会員」愛媛新聞(2015.9.6)	
31	「脱原発をめざす首長会議の南相馬視察と記者会見」(みなみそうまチャンネル)	
32	『負の遺産、発信を』脱原発首長会議、南相馬訪問」朝日新聞(2015.10.19)	
33	「脱原発をめざす首長会議:愛媛・伊方の再稼働反対、首相に申し入れへ」毎日新聞(2015.10.19)	

2015  
年度

34	『脱原発首長会議』伊方再稼働に反対 首相らに申し入れへ」北海道新聞 (2015.10.19)	
35	「伊方の避難計画『現実性ない』福島で脱原発首長会議」共同通信 (2015.10.18)	
36	「伊方再稼働反対申し入れへ 南相馬で首長会議」福島民報 (2015.10.19)	
37	『脱原発』首長、南相馬を視察」河北新報 (2015.10.19)	
38	「高浜再稼働反対、京都府・滋賀県は表明を 首長会議要請」京都新聞 (2015.12.9)	
39	「福井・高浜原発再稼働反対、首長会議が要請府と滋賀県に」毎日新聞 (2016.12.11)	
40	高浜原発再稼働に関する要請についてJ-WAVEで放送 (2016.12.10)	
	<b>最終報告書</b>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_kubi_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_kubi_01.pdf</a>



2015  
年度

4	<p>助成先: まつもと子ども留学基金</p> <p>(企画名) まつもと子ども留学 拡充事業</p> <p>(活動内容) 当団体は平成26年4月から、福島の子ども達を対象に、自然豊かな松本市・四賀地区で、寮生活と教育を受けさせる留学事業を行っている。松本市や地元関係機関をはじめ、長野県内、全国各地の市民、団体の応援を受けて、2年目の事業も継続させることができた。</p>	1	ニュースレター4~6号	
	2	「山雅元選手 元気届ける 福島から避難 生徒と交流」市民タイムス(2015.9.7)		
	3	「子ども留学基金に善意 上兼健さんライブの収益」市民タイムス(2016.2.27)		
	4	「子ども留学基金に寄付 社協 CDの売り上げ10万1700円」市民タイムス(2016.3.17)		
	5	「福島から松本へ あすを紡ぐ子ども留学 帰郷が残るか悩み決断」信濃毎日新聞(2016.4.13)		
	6	「福島から松本へ あすを紡ぐ子ども留学 全国からの善意支えに」信濃毎日新聞(2016.4.14)		
	7	「福島から松本へ あすを紡ぐ子ども留学 住民からの支援を胸に」信濃毎日新聞(2016.4.15)		
	8	「福島っ子交流会」保養と見学を兼ねた交流会のしおり		
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_matsumoto_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_matsumoto_01.pdf</a>	
5	<p>助成先: 特定非営利活動法人市民科学者国際会議</p> <p>(企画名) 第5回市民科学者国際会議の開催</p> <p>(活動内容) 第5回となる市民科学者国際会議を企画する際に大きな課題となったのは、これまでとは異なる関心層や年齢層に如何に情報を伝えるかという点にあった。2日間に渡る会議の前日に、“科学と藝術の狭間”というタイトルでプレイベントを企画した。結果的に会議は3日間連続したものとなった。原発事故後の問題点の一つに、一般的な“科学に対する過信”が横たわっており、「最終的な答えを科学はすでにもっている」かのような幻想は、被災地やより大きな範囲での影響地域に居住する人々が意思決定する際の障壁となってきた。これまで培われてきた別の知の形態の一つである“藝術”を置いて“科学”を対象化させることで、放射線防護や公衆衛生対策を考えていく上で前提となる“科学”は如何様なものであるかという認識に迫り、科学に含まれる科学自身の問題は、科学によっては解決することができないというパラドクスが示唆されたことは興味深い。</p>	1	第5回 市民科学者国際会議アーカイブ映像(日本語版、英語版)	<a href="http://csrj.jp/csrj2015/archived_video">http://csrj.jp/csrj2015/archived_video</a> <a href="http://csrj.jp/csrj2015/archived_video">http://csrj.jp/csrj2015/archived_video</a>
	2	「原発事故による健康影響 医療の倫理性問う 国際会議で専門家ら報告」朝日新聞(2015.9.23)		
		最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_shimin_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_shimin_01.pdf</a>	

2015 年度	6	<p>助成先:琉球大学理学部海洋自然科学科生物系大瀧研究室</p> <p>(企画名) 再稼働原発周辺のチョウの生物学的調査</p> <p>(活動内容) 福島原発事故の生物影響について、われわれはヤマトシジミに関する知見を蓄積してきた。その結果、汚染地域(北関東・南東北地方)のヤマトシジミが原発事故の影響を受けたことが明らかとなった。しかしながら、北関東・南東北地方のヤマトシジミにわれわれが取り組み始めたのは事故後であり、事故前の標本や研究結果がないことが批判の対象となった。最終的には9個体の標本を福島県内から得ることはできたものの、それ以上のデータはもはや得ることはできない。この教訓を生かし、次の原発事故が起こる前に、事故の可能性がある場所についてはヤマトシジミの調査を事前に実施しておくことが望ましい。本研究では、現在再稼働がなされた原発周辺部を含めて広く西日本のヤマトシジミに関する調査を行った。</p>	1	再稼働原発(鹿児島島の川内原発、福井県の高浜・大飯・美浜・敦賀原発および高速増殖炉もんじゅ、愛媛県の伊方原発)周辺のヤマトシジミを採集し、その形態などに関するデータを収集した。	
		2	調査前に本プロジェクトの開始を研究室のウェブサイトなどを通して発信した。		
		3	調査結果速報を研究室のウェブサイトにて発信した。	<a href="http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/saikado.html">http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/saikado.html</a>	
		4	「act beyond trust 助成研究 成果報告」(A4 紙1ページ)	<a href="http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/files/abt_result_2016.pdf">http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/files/abt_result_2016.pdf</a>	
		5	詳細な調査結果を科学論文として発表する予定。(助成事業期間外)		
			最終報告書	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_ryukyu_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_ryukyu_01.pdf</a>	
7	<p>助成先:NPO いわき放射能市民測定室たらちね</p> <p>(企画名)たらちねβ線核種測定ラボプロジェクト 2015年度</p> <p>(活動内容) 「たらちね」のベータ線核種測定測定ラボプロジェクトは2015年度で2年を経過しました。ベータ線核種の測定は、設備にかかる経費が多額なことから、分析技術の困難さから国内外の市民レベルで測定が行われることはありませんでした。しかし、実際に測ってみると、身近なところに福島原発事故の影響によるストロンチウム90の影響があることがわかりました。この核種の測定は重要なものだと考えています。そして同じベータ線核種であるトリチウムについても同じことが言えます。トリチウムの内部被曝は遺伝子にも関わる被害が考えられ、非常に危険なものです。その現実を認識し、追加の被曝被害を防ぐために「たらちね」では日々研鑽し、測定技術を向上させ子どもたちの健康と未来を守ることに貢献すべく、今後とも努めていきたいと思っております。</p>	1	「いわき放射能市民測定室 安心して暮らすために測る」The Big Issue 日本版Vol.258(2015.3.)		
		2	明石昇二郎「4月からストロンチウム90の測定を始めた『たらちね』食品の安全性を確認し被曝を予防」週刊金曜日No.1034(2015.4.3)		
		3	「プロメテウスの罠 たらちねの母」1~20朝日新聞(2015.5.15~6.3)		
		4	「『年間被曝量20msvでも家に帰れ』は誰がどう決めたのか?」週刊プレイボーイNo.26(2015.7.25)		
		5	天野光、坂本英輝、根本富美子、鈴木薫「食品と環境中ストロンチウム90の迅速分析」環境測定研究会ポスター発表		
		6	天野光、木村亜衣、鈴木薫「食品と環境中トリチウムの迅速分析」環境測定研究会ポスター発表		
		7	「たらちねの海洋調査特集 現場に行って測り続ける」日々の新聞No.301(2015.9.15)		
		8	「市民測定室だより 海洋調査の結果」日々の新聞No.302(2015.9.30)		
		9	「市民測定室だより 掃除機のごみの放射能」日々の新聞No.303(2015.10.15)		
		10	Alessia Cerantola「The mothers who set up a radiation lab」BBC News Magazine(2016.3.16)		

2015  
年度

		11 Hikaru Amano, Hideaki Sakamoto, Norikatsu Shiga, Kaori Suzuki「Method for rapid screening analysis of Sr-90 in edible plant samples collected near Fukushima, Japan」Applied Radiation and Isotopes (Vol.112, June 2016, pp.131-135)	<a href="http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0969804316301178">http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0969804316301178</a>
		<b>最終報告書</b>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_tarachine_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_tarachine_01.pdf</a>
8	<p>助成先:みんなのデータサイト運営委員会</p> <p>(企画名) 知ろう!測ろう!つながろう! 市民による東日本土壌ベクレル測定プロジェクト (Phase 2)</p> <p>(活動内容) ■採取目標について 2015年4~9月で900カ所、同10月~2016年3月で600カ所、計1,500カ所の採取・測定を目標に、各地で土壌測定態勢を構築(土壌講習会開催一覧表を添付)した。2016年3月末現在の土壌測定数は、約1,900地点に達し、目標としていた1,500カ所を上回ることができた。 ■測定結果の掲載について 測定結果はウェブサイト上に掲載し公開している。都県別リストのほかにマップ形式での表示機能を強化するなど、一般の方々にとって分かりやすい表示を心がけながらサイトの改変を実施した。</p>	1 採取講習会実施記録	
8		2 「放射能汚染の有無、東日本で調査協力者募集」河北新報(2016.4.25)	
8		3 「東日本土壌ベクレル測定プロジェクトの活動について」ラジオジャーナルインタビュー(2015.5.4)	<a href="http://www.rafjp.org/program/121/">http://www.rafjp.org/program/121/</a>
8		4 「石丸偉丈さんインタビュー」通販生活公式サイト(2015.5.12)	<a href="https://www.cataloghouse.co.jp/yomimono/150512/">https://www.cataloghouse.co.jp/yomimono/150512/</a>
8		5 「ニュースオブエド」出演(2015.6.12)	<a href="https://www.facebook.com/news.oped/posts/1599584270318378">https://www.facebook.com/news.oped/posts/1599584270318378</a>
8		6 「データがつなぐネットワーク『市民放射能測定4年間の軌跡とこれから』—放射性物質が降り注いだ食品と土壌をみつめて—」発行協力(2015.8.25)	
8		7 コミック版 市民による「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」虎の巻!(2015.10.10)	<a href="http://www.minnanods.net/soil/toranomaki.html">http://www.minnanods.net/soil/toranomaki.html</a>
8		8 採取説明動画作成(C-ラボ)(2015.11.22)	<a href="http://www.minnanods.net/soil/howto-movie.html">http://www.minnanods.net/soil/howto-movie.html</a>
8		9 1700データを超え、東日本地図にプロット	<a href="http://www.minnanods.net/soil/pref17_colored/map17.html">http://www.minnanods.net/soil/pref17_colored/map17.html</a>
8		10 チェルノブイリの4ゾーンとの仮比較ページ	<a href="http://www.minnanods.net/soil/pref17_colored/zone_diff.html">http://www.minnanods.net/soil/pref17_colored/zone_diff.html</a>
8		<b>最終報告書</b>	<a href="http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_minna_01.pdf">http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/07/abt_2015report_minna_01.pdf</a>